

特集テーマ **日本語をどのように <うたう> か**

【趣旨】

私たちがうたう歌の多くは日本語による歌詞です。しかし、ジャンルにより曲により、その表現にふさわしい日本語のくうたいかた>はさまざまに異なってくることでしょう。

我が国の伝統的な歌唱の多くは豊かな地声でうたわれますが、その歌詞の一語一語の発音のしかたは日本音楽の種目ごとに異なっています。これから学校で伝統的な歌唱に取り組むとき、種目ごとに異なる日本語の発音をどのように扱ったらいいのでしょうか。一方、芸術音楽としての「日本歌曲」では、洋楽の発声でいかに日本語らしい響きでうたうかについて長年にわたって研究がなされ、学校における合唱指導でも日本語の発音の指導が熱心に行われてきました。たとえば、口を大きくあけてアイウエオの母音の口形をはっきりと区別して発音するように指導することもありますし、これに対して、日本語の話し言葉の発音の特性を生かして口をあまり開けずにうたう方がずっと日本語らしく聴こえるという研究も出ています。ポップスではどうなのでしょう。子どもたちの遊びうたではどうなのでしょう。

今回の特集では、歌の指導における日本語の扱いかたに焦点をあて、それぞれのジャンルや曲にふさわしい日本語の表現の在りようをとらえた、これからの歌唱指導を考えていきます。幼児教育から大学までのさまざまな実践、専門教育、教員養成などいろいろな立場から、「日本語をどのようにくうたうか」というその一点について、これからの歌唱指導が縦横に論じ合われるような特集にしていきたいと思えます。

たくさんの方々からのご投稿をお待ちしています。

- 投稿締切 **3月15日(月)** 消印有効
- 分量・書式 A4判用紙に横書き, 21 字×39 行×2 段組 12ページ以内  
タイトル、図表、写真等のスペースも含めます。
- 送付先 〒184-8799 小金井郵便局私書箱26号 日本音楽教育学会 編集委員会
- 投稿にあたっては、学会ホームページ上の「原稿募集」ボタンから「『音楽教育実践ジャーナル』投稿規程」「投稿の手引き」「音楽教育実践ジャーナル用テンプレート」を参照の上、規程に則ってご執筆いただきますようお願いいたします。
- 【別紙1】投稿申込書と【別紙2】投稿者用チェックリスト各1部（HPおよび学会誌巻末掲載）を同封し、原稿4部を郵送でお送りください。
- 採択された原稿については、編集委員会から5月末日までに投稿者に連絡します。審議の結果によっては、修正をお願いする場合があります。
- ご不明の点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

(問い合わせ先) 日本音楽教育学会事務局〔編集担当〕

[jmesedit@hiroshima-u.ac.jp](mailto:jmesedit@hiroshima-u.ac.jp)

Tel.& Fax. 082 (424) 7137